

津島市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定 第3回高台寺小学校区懇談会 開催報告

新たな「地域福祉計画・地域福祉活動計画」を確認し 今後の活動を展望

■テーマ：「高台寺小学校区における地区懇談会の成果と計画（案）を確認し
今後の地域福祉活動について話し合おう」

■日 時：平成 28 年 2 月 20 日（土）18：00～19：30 ■場 所：高台寺コミュニティセンター

■参加者：計 18 名（参加者 12 名、事務局 6 名）

【開会、趣旨説明】

事務局の福祉課より、本日の会議の趣旨や検討テーマ、スケジュールについて確認しました。

今回は、新たに策定した「第2期津島市地域福祉計画・第3期津島市地域福祉活動計画」の概要を報告するとともに、高台寺小学校区の「地区懇談会」の開催結果について説明しました。

続いて、平成 28 年度からの地域福祉活動の進め方と、そのために地区懇談会を継続することやコミュニティ推進協議会における体制づくりについて意見交換することを説明しました。



【「津島市地域福祉計画・津島市地域福祉活動計画」の概要説明】

「第2期津島市地域福祉計画・第3期津島市地域福祉活動計画」の、基本理念、基本目標と基本施策、重点的な取組み、計画の推進方法について、概要を説明しました。

また、計画書の参考資料として添付する「地区懇談会結果概要」を説明しました。

これに基づき、高台寺小学校区における地域福祉課題を解決するための取組みアイデアを振り返って、今後の活動や体制づくりなどについて意見交換を行いました。

【今後の福祉活動のあり方や、体制づくり、地区懇談会の継続について】

今後の福祉活動については、この小学校区で特に重点的に進めるべきことについて意見を交換しました。体制づくりについては、地区社会福祉協議会の設立を目指すことについて、また、そのための土壌づくりとしてコミュニティ推進協議会において福祉部会を設置すること、あるいは平成 27 年度に 3 回開催した地区懇談会を今後も続けることについて話し合いました。あわせて、平成 28 年度に開催を目指す第 1 回の地区懇談会の時期についても検討しました。

意見交換の結果は、裏面のとおりです。

今後の福祉活動のあり方や、それを進めるための体制づくり、地区懇談会の継続

今後、取り組むべき福祉活動について

- ・みんなで集まって交流を深める機会は大切。（例）空き家の利活用によるサロン開催
- ・老人クラブへの補助金の削減によって、交流の機会が奪われかねない！
- ・老人憩の家の運営を、市に支援してほしい。
- ・大坪では「抹茶の会」やってみた。各町内の工夫をお互いに教え合うことも大事。
- ・町内では若い世代も参加した秋まつりを見直し始めている。
- ・要支援者対策、各班の意見も拾って検討中。
- ・地域福祉について、町内会別の取組になりがち。
- ・総会で具体的なアイデアを話し合う予定。
- ・マンションは、住民同士のつきあいが少なく、住民の出入りが多い。
- ・防災訓練への参加者が少ない。

地域福祉活動を進めるための体制づくりについて

- ・横のつながりをつくっていく必要がある。
- ・役員の交代によって継続性が難しい。
- ・マンション内の組織づくりが難しい。（例）防災対策の見直し

地区懇談会の開催について

- ・みんなで一緒に話し合うことが大切だと思うが、敷居が高い。
- ・地区全体で話し合う機会が少ないので、地区懇談会は意義がある。
- ・会合の名称を馴染みやすくしたほうが良い（囲戸端会議など）。
- ・もっと若い世代の参加が必要！
- ・そもそも、まず若い人に知ってもらうことから取り組むべき。例えば、小学校PTAに呼びかけ、ママ友と一緒に来てもらうなど。
- ・「世代別の会合」と「多世代の会合」を組み合わせ、参加しやすい工夫を！
- ・気軽におしゃべりできる「囲戸端会議（仮）」をH28も開催していこう！
- ・積極的な情報発信を！

【第3回地区懇談会でのご意見・ご感想(アンケート結果より)】

- ・いろいろな会話ができて良かった。
- ・災害時の要支援者をどう支援するか考えてほしい。
- ・参加人数、大変多く良かった28年度もお願いします。
- ・世代を越えて話ができとても良かった。ぜひいろいろな方に参加していただききたいと思う。
- ・地域の悩みや問題点に共通しているところがあり、なんとか1つでも実るといいと思う。
- ・気楽に話し合えた。具体的な例を基に考えることが出来るようになり、有意義であった。
- ・地域の人が気軽に出てこられる場所ができたらいいです。